

オリジナル教材

受験者必携! 合格へのパスポート

TACのオリジナル教材は、合格に必要な要素を随所に盛り込みつつ、 内容を簡潔にまとめ、無理なくわかりやすい教材となっていますので、 初学者の方でもスムーズに学習に取り組めます。

=zarTACI 毎年改訂

法改正や最新の試験傾向を 教材に反映させています。

基本テキスト わかりやすさが断然違う! これで1・2次試験対策も万全!

デザイン一新! さらに見やすく!

ZがTAC!

2色刷

見た目もこだわった2色刷のテキ スト。文字や図表もカラフルにわ かりやすく掲載しています。

本章の体系図

各章のはじめに体系図を掲載。学習内容をひと目で把握できま す。「木を見て森を見ず」とならないよう、全体の中における位 置付けを理解してから学習を開始することができます。

ここがTAC!

出題論点

過去の本試験において出題された論点には 表示が付きます。また、基本テキスト巻末 には「出題領域表」も掲載しています。

本章のポイント!

章ごとのマスターすべきポイントをチェッ クリスト形式で紹介。本文を読む前に確認 することで、スムーズに学習を開始するこ とができます。

設例

過去の本試験においてどのような問われ方 をしたのか、実際の問題を例にして論点へ の理解をより深くします。

第5章 技術経営 研究開発 イノベーション 製品アーキテクチャ モジュール型アーキテクチャ デジタル家電業 インテグラル型アーキテクチャ ベンチャー企業のマネラテクト ● 本章のポイ 究開発にはどのようなものがあるか。 ア技術戦略とは何か。 ...。 スにはどのようなものがあるか。 は何か. トスタンダードとは何か。 ダーウィンの海とは何か。 一企業の資金調達にはどのようなもの チャーの狙いは何か。 64 Chapter 5 技術経営

研究開発 1

技術経営(MOT:Management Of Technology)とは、明確化された企業戦 総および事業機能のもとで、企業の技術を確立するための技術戦能を模築し、その 技術戦能に従った研究開発、マーケティング、生産等の事業活動を行うことであ る。本部ではまず研究開発について見ていく。

1 研究開発の分類

特別な応用、用途を直接に考慮することなく、仮説や理論を形成するため、もし は理像や種類可能な事実に関して新しい知識を得るために行われる理論的・実験 9な研究である。

基礎研究によって発見された知識を利用して、特定の自動を定めて実用化の可能 性を確かめる研究、およびすでに実用化されている方法に関して、新たな応用方法 を探索する研究である。

マア河西町実 (開発)・ 基礎研究や応用研究、および実際の経験から得た知識の利用であり、材料、装 製、熱品、システム、工程などの際。または合理をあらいできるものである。 ※ 延野研究に応用研究をまとめて「研究」とする場合も多い。 ● 研究機能の参かな外部委託や、共同開発の実施など、多様な外部組織との 連携も行われる。

中央研究所を見直して担当を『発研究に絞り込み』、外部と取引や技術交流の ある生産技術部門や営業部門に基礎研究を移管している。 H22-A オ (X:基礎研究と開発研究が逆である

65

71

製品アーキテクチャ Section 3

キーワード

重要キーワードの定義を色文字で表現して います。学習上の最も基本となる事項です ので、しっかり理解してください。

図表・グラフ

印象に残りやすいよう図表 ・ グラフを用い て、重要ポイントをわかりやすく解説して います。

❸▶革新者のジレンマ (イノベー ョンジレンマ)・・

3 製品アーキテクチャ

製品アーキテクチャとは、「どのようにして製品を構成部品に分割し、そこに製 被加・イナノケモには、「こいか、」でいる。 多機能を能力し、それによって必要となる態態側のインターフェース (原処間で) 報やエネルギーのやりといが行われる部分で、腹はモジュール側のつなぎ目のこと といかに設計・「職験するか」に関する部となる維持な協能と思ったとなる。大きくモシ ュール (モジュラー) 型とインテグラル型 (統合型、振り合わせ型) に分かれる。

1 モジュール化(モジュール型アーキテクチャ) モジュール化とは、金巻システムを、明確に定義されたインター リ、相互開始が完全となるような下位システム(モジュー)。 に分割 計態型である。パンカンを例にすると、COU、OS、ハードナス たパンコンの感見は、それで100万~カーの相互的は、Gことなっているが、これもある。カーが実施に受められた仕様に基づれます。 た分型の表現れません。これでは、COUのようなである。 た分型の表現れません。これでは、COUのようなである。

